

## 2014年度 展覧会スケジュール

春季特別展

### 絵画でめぐる 京都・美の探訪

2014年 4月12日(土)～5月25日(日)

京都は、風情ある町並みや名所旧跡、豊かな自然、長い歴史、伝統的な芸術文化や産業など、多くの魅力にあふれる街です。古くから多くの人々が、京都を想う心を様々なかたちで表現してきました。

本展では、京都府所蔵の絵画シリーズ「京の百景」「京の四季」「いのち賛歌」の作品を中心に、約90点の日本画等を紹介し、近現代の京都ゆかりの画家たちによる名画をとおし、京都の美と自然と伝統の粋をお楽しみください。

小川立夫 乙訓寺の牡丹 昭和61年  
京都府立総合資料館蔵(京都文化博物館管理)



企画展 郷土作家シリーズ

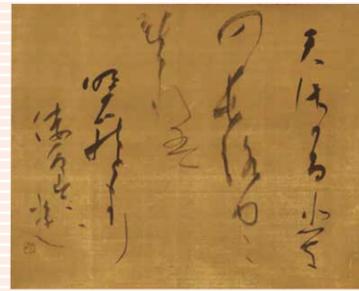
### 生誕100年池内艸舟／没後10年山口南艸展—かなの心を紡いで—

2014年 5月31日(土)～7月6日(日)

今年の郷土作家シリーズは書家 池内艸舟(1914-1993)とその弟子、山口南艸(1931-2004)の作品を展示します。艸舟は明石市に生まれ、教鞭をとりながら創作活動に励み、日展特選など数多くの賞を受賞しました。南艸も師のもとでかなを学び、草心会をたちあげ、かなの心をうけつぎました。二人の若かりし頃から、晩年の作品まで、日展出品作なども含めて紹介します。また、近年当館に寄贈された作品も初公開します。



山口南艸  
「柿本人麿歌(ともしびの)」



池内艸舟  
「柿本人麿歌(天さかる)」

夏休み特別展

### エッシャー100選

2014年 7月19日(土)～8月31日(日)

オランダが生んだ奇才の版画家、M.C.エッシャー(1898-1972)。世界中の美術ファンを魅了する彼の作品は、卓越した版画技術による不思議なだまし絵(トロンプ・ルイユ)で知られています。本展では、長崎のハウステンボス美術館が所蔵するコレクションより、エッシャーの代表作100点を公開。だまし絵のほか、緻密な風景画や物語の挿絵、いくつかの 패턴の組み合わせが画面を埋め尽くす「平面の正則分割」など、初期から晩年までのエッシャーの全貌を紹介します。

(滝) All M.C. Escher works © Escher Holding B.V.-Baarn-the Netherlands



企画展 館収蔵品展

### 明石藩の世界II

2014年 9月13日(土)～10月13日(月・祝)

近年博物館に収蔵した明石藩主松平家資料と幕末明石藩家老を務めた黒田家資料を3年かけて市民に公開する「明石藩の世界」展。2年目となる今年は古文書や調度品、生活用品などを紹介します。

黒田家資料「松平家紋入り重箱」



企画展

### 発掘された明石の歴史展

—明石の古代II—

2014年 11月1日(土)～12月7日(日)

今年で22回目を迎える「発掘された明石の歴史展」は、テーマを「明石の古代II」とし、平安京や福原京に運ぶための瓦を焼いた林崎三本松瓦窯跡群の資料を中心に、明石地域の平安時代の遺跡から出土した遺物を展示・紹介します。いにしへの明石に思いを馳せてください。

新春特別企画展

### 岩合光昭写真展「ねこ」

2015年 1月4日(日)～2月8日(日)

動物写真で海外でも高い評価を得ている岩合光昭。そのきっかけを作ったのが他ならぬネコでした。「ネコが幸せになればヒトも幸せになり、地球も幸せになる!」と語る岩合は、40年に及ぶ写真家人生の中で、国内外で出会ったネコたちを撮り続けています。本展はその写真約240点を一堂に集めた、イワゴローネコワールドの極めつけともいえる展覧会です。人間の最も身近なところで、小さな命を輝かせるネコたちの世界をお楽しみください。



岐阜県・白川村 ©Mitsuaki Iwago

企画展

### くらしのうつりかわり展

2015年 2月15日(日)～3月22日(日)

毎年小学校の社会科・総合学習の一環として開催される「くらしのうつりかわり展」は、昭和時代のくらしの様子を当時の道具や写真などでふり返るものです。小学生だけでなく、さまざまな世代の方にお楽しみいただける展覧会です。

※例年、小学校の社会科の課外学習でご利用いただいています。見学申し込みは9月頃に開始予定です。詳しくはお問い合わせください。